



INDEX

- P 1 ー代表挨拶
平成 20 年度
通常総会お知らせ
- P 2 ー平成 19 年度
ゆめ企画コン
テスト結果報告
- P 3 ーゆめっと京都
加盟団体を
訪ねて⑩
- P 4 ーラジオ「ゆめっとな夜」報告
ゆめっと京都からのお知らせ
(事務所移転・記事募集)



神崎清一代表

社会の一員としての青年・青年団体そしてゆめっと

京都青少年ゆめネットワーク代表 神崎清一

今、「青年」「青少年」「ユース」「若者」ということばから、どのようなことがイメージされるのでしょうか。

マイナス部分として、「今の若者は」に代表される批判。我侭、マイペース、自分中心。責任を取らない、取れない。傷つきやすく、一方で安易に他者を傷つける。地域や直接関係のない者とはつながりを持とうとしない。けれども一度でもあった人と携帯に登録しそのすべてが友人と言っているのける。社会に無関心。

なぜそう思うのでしょうか。何がそうさせるのでしょうか。大人社会の鏡？家庭や地域社会の教育力？学校生活が起因しているのでしょうか？

プラスのご意見。「若者も捨てたもんじゃないな」「ようやるなあ、感心するわ!」。パソコンなど新しい機器を使いこなす姿。素晴らしいリズム感。町おこしや学校のイベントなどで見せる一生懸命さ。スマートにこなせるボランティア活動のかっこよさ。障害のある方々と自然に助け合える生き方。教えられ、助けられ、感心をします。

さて、私たちは青少年を、よく「次代を担う者」として論じることがありますが、彼、彼女たちは「今」を生きています。今をどのように生きるのか。今をどのように一緒に創り出そうとするのかが問われているのではないのでしょうか。18歳を成人として、選挙権を始めとした責任と権限の見直しもすすめられている中で、大人の小型版が子どもや青年ではなく、大人への準備期間としてだけの青年期でもなく、すべての人々が新しいコミュニティの創出を基に大いに論じて、新たに社会を構築する必要があるのではないのでしょうか。

私たち「ゆめっと」に加盟する各団体やグループの活動を通して、更には垣根をこえて、青年の一人ひとりが「市民社会」を構成する一員であることが体感でき、いきいきと生きることが育まれることが求められているのではないのでしょうか。

「今」の社会と結びつき、提案・提言し、積極的に次の社会を創出することのできる青年団体や青年のネットワークを構築するために「ゆめっと」で、大いに論じ、そして歩みを強めましょう。

平成 20 年度ゆめっと京都 通常総会のお知らせ

日時：平成 20 年 5 月 11 日（日）受付：14 時 30 分～ 開会：15 時～
懇親会：16 時 30 分～

会場：コープ・イン・京都 大会議室（202 号室） 懇親会もコープ・イン・京都内にて

住所：〒604-8113 京都市中京区柳馬場蛸薬師上ル井筒屋町 411

電話：075-256-6600 URL：<http://hawk2.kyoto-bauc.or.jp/coop-inn/kyoto/index.html>

◎地下鉄烏丸線「四条」駅・阪急電車「烏丸」駅（13 番出口から）徒歩 5 分

◎京阪電車「三条」駅（三条通西へ、京都 YMCA を左折）徒歩 16 分